

コンクリ診断士サロン

広島県コンクリート診断士会(米倉亜州夫会長)は十八日、二カ月に一度の定例サロンを開催した。



市内のコンクリート構造物を会員

有志で診断して回る「コンクリート探偵団」の活動報告では、宇部コンクリートの宅和大助取締役Ⅱ写真Ⅱが「原爆関連のモニタメントを維持管理するのも私たちの役割のひとつ」など、現場経験の重要性を話した。

経済レポート

十二、十四日の三日間で行った「平和の灯劣化調査」における各班の速報では、空中撮影を担当したシーエムプランニングに対してドローンに関する質問が集中した。同会の鈴木智郎副会長は「現場に従事する者同士、製品や技術を学ぶ場でもある」と話す。同会では今後、詳細な調査結果をまとめて市に提出する予定となっている。

平成 28 年 5 月 31 日
2594 号 (第三種郵便物認可)